



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第447号

2020年3月16日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市庁舎の先送りにとどまらず白紙に

予算審査特別委員会が3月5日から4日間開催されました。日本共産党は、八千代市政の焦眉の課題となっている市庁舎建て替えや阿蘇・米本地域の学校統廃合問題などについて、市民の声を代弁し、市当局の考えをたどりました。



既報のとおり、市庁舎の建て替えについては先送りし、雨漏りのために避難所として使用できない小中学校3校の体育館の改修を優先的に行うことになりました。

同時に、耐震化が遅れている他の公共施設について、建て替えを進める八千代台西保育園など9カ所の建設費用について、「現状示すことは困難」として、財源確保の道筋は明らかになっていません。

劣悪な環境となっている避難所の改善を

避難所となる小中学校の体育館に、エアコンの設置を求める発議案が12月議会で全会一致可決されています。日本共産党は、速やかな設置を求め、19日の総括審議で予算の組み替え提案を行います。

また、体育館のトイレのほとんどは和式のままで、高齢者や身体の不自由な方が使用するのは困難です。洋式トイレの設置を求めるとともに、避難所が2階となっていて、使いづらいとの声も寄せられています。

市は、小中学校の体育館を避難所として指定するのであれば、もっと避難者の視点で再点検を行い、改修する必要があります。

少年自然の家は休止、高津団地から支所がなくなる？

耐震性が不足している公共施設について、いまだに耐震化が実施されていない15施設のうち、6カ所が休止となっています。その中には、子どもたちに親しまれている少年自然の家が4月から利用を休止し、市外の代替施設で対応となりました。

また、高齢化が進む高津団地の中心にあって、住民に利用されている高津支所は、令和2年度に民間施設への移転も含めた検討を進め、令和3年度に移転予定という市の運営方針が示されています。このままでは、高津団地から支所がなくなるとの不安の声が寄せられています。

市民の暮らし・福祉最優先の市政運営を

八千代市は、度重なるハコモノ計画による500億円もの借金を抱えており、庁舎建て替えを進めれば、さらに100億円もの借金を背負うことになります。

いま、市がやるべきことは、市民の暮らし・福祉最優先に市政運営を行うことです。

日本共産党は、そのために全力で頑張る決意です。